

全国学力調査結果から見られる課題と対策

<国語>

○課題

- ・条件作文において条件①は記入できているが、条件②を満たしてまとめることができていない。
- ・修飾・被修飾の関係を理解できていない。

○付けたい力

- ①目的に応じて中心となる語を見つけ条件を落とさずに要約することができる。
- ②文章と図を結び付け、必要な情報を見付ける力。
- ③主述、修飾／被修飾の関係の理解。

◎対策

★読書のすすめ。読書の活用。

- ・朝読書でしっかりと文字を読む。
- ・読み聞かせや巡回図書を活用し、クイズを出すなどして、中心となる言葉を捉えることができるようにする。
- ・図書支援の先生に協力してもらい、国語科教材で紹介されている「この本を読もう」の本を児童がいつでも読めるような環境を作る。

★「条件を理解して書くこと」に慣れるようにする。

- ・文字数やキーワードを入れて条件作文を日常的に行う。例えば、まどかの振り返りや校外学習の感想などで条件を付けて書くようにする。
- ・要約などの単元を重点的に扱う。児童の話し合いを通して、落としてはいけないキーワードを考え吟味できるようにする。要約文などを書いた際は、ポイントに沿って自己採点をしたり、お手本となる作文と比較したりするようにする。
- ・説明文や物語文を最初に読んだときに、「どんな話だった?」と聞いたり、いくつかのキーワードを提示し、そのキーワードを使って粗筋をまとめたりする活動を行う。→初見で粗筋をつかんで、自分の考えをもつことができるようにする。
- ・文の中で根拠となること(問いの答えとして見合う部分)に線を引いて探すようにする。

★「文章と図を結び付けて読む・話す」を意識できるようにする。

- ・文章と図を結び付けて読み取ることを意識するようにする。
- ・資料や図を使って説明する経験を増やす。説明の際は、言葉と図を対応させながら説明するようにする。
- ・勝手読みをするのではなく、文を正しく最後まで読み切る力を付ける。長文に慣れさせる。
- ・音読する際は、会話文はそれぞれ誰が言った言葉なのか、文章中のかぎや句読点に気を付けて読むようにする。

★主述・修飾／被修飾語の関係などは、根気よく繰り返し指導する。

- ・授業で「何が」と切り替えすようにし、日々、主述の関係を抑える。
- ・問題集やテストなどで文節の問題が出題されていたら、復習を兼ねて修飾／被修飾の関係の捉え方を指導する。

★その他、大事なこと

- ・各単元の目標を明示し、スパイラルに積み上げていく。
- ・問題文の意図を捉えるために、問題をよく読み、書き込みをするようにする。(下線や図など)

<算数>

○課題

- ・条件①は記入できているが、条件②を満たしてまとめることができていない。
- ・割合や比例などの「もとなる数」「くらべる数」といった数量関係の理解が不十分である。

○付けたい力

- ①題意を捉え、数学的根拠を用いて条件を落とさずに説明する力。
- ②数量関係を正しく理解し、説明する力。



◎対策

★自分の言葉で繰り返し表現する機会を増やす。

- ・算数用語を使った説明の型を押さえ、自分で使えるようにする。
- ・児童の発言を取り入れながら全体で問題の題意をつかませ、解決への見通しをもたせてから、自力解決するようにする。
- ・問題文を図で表したり、式だけではなく、考え方を図や言葉で表したり説明したりする活動を積ませる。

★図に描いて題意を正しく捉えるようにする。

- ・数量関係を捉える図をかいて説明する活動を行う。式と図、言葉と図を対応させて説明するようにする。
- ・1というもとなる量が捉えにくいときは、テープ図で視覚的に捉えることができるようにする。
- ・問題文の出題意図を理解させるために、立式の際に、単位を付けるようにする。
- ・教材を活用して既習問題を繰り返し行う時間を確保する。

★その他、大事なこと

- ・計算オリンピックの出題の仕方を工夫する。
- ・一人学びの取り組み方を考える。